

かわむらこどもクリニック NEWS

Volume 5 No 11 5 2 号 平成9年11月 1日

発行 かわむらこどもクリニック 022-271-5255 HOMEPAGE <http://www.ifnet.or.jp/kazu.k/>

こどもの健康週間を振り返って

院長

10月26日(日)に「こどもの健康週間」が開かれ、小生がパネルディスカッションで司会をしたことはご存知の方も多いと思います。その内容と印象について、ちょっと話してみたいと思います。この会は日本小児科学会が毎年開催し、保護者のための講演会が主な内容になっています。

今年のメインテーマは、「現代育児考」で子育ての問題を中心に取り上げました。特別講演は聖母会天使病院の南部春夫先生に「こどもをめぐる問題と楽しい生活」という題でお話しいただきました。子どもたちの問題や症状を発達年齢に応じて解説されました。また今日の問題のトピー性皮膚炎や喘息が子どもたちに与える影響、親や医師の不安の現状、不登校や摂食以上がこどもの強い意思表示であること、喧嘩やいじめをどのように理解し対応すればよいかなどについて述べられました。後半は子どもたちの豊かな感性や運動発達に沿った関り方がわかれば、親と子の楽しい生活は自然に展開されるということ締めくくりました。

パネルディスカッションは「子育てトーク&トーク」という題で行なわれました。宮城教育大の佐藤さん、東二番町幼稚園の渡辺さん、基督教育院の竹田さん、保健福祉センターの高橋さん、桂内科こどもクリニックの下田さんからそれぞれの立場から、育児上の話題が提供されました。母子関係の在り方、父親の役割、父親の育児参加、父性とはなど家庭を中心とする内容についてと、幼稚園や母子が分離された状態など社会の問題について問題を浮き彫りにしました。

特に印象に残ったのは、父親の役割ということです。本紙にも同じ題で書いたこともあるので、お持ちの方はもう一度読んでみて下さい。話は途中から多少脱線して、いかに母親というものが大変であるかということに集約され、実際愚痴のような面白い話も聞けました。父親が育児を手

助けするのは、必ずしも本来求められている父親の姿ではないように思います。かといって、父親は一生懸命働いている大きな背中を、見せていけばよいというものではありません。最近の男達は弱くなってきているのでしょうか。お母さんの代わりをする男は、父親でなくてもいいのかも知れません(これは考え方によっては誤解されるかも知れません)。男と女が問題ではなく、父性と母性つまり父親と母親の違いが問題なのです。

小生はパネルディスカッションの講師と司会の労災病院の遠藤先生の計6人の女性に囲まれた司会でした。これが意図されたものか、女性が強くなってきたことの表れなのかは、定かではありませんでしたが、何とか男の面目を保てたと思います。

内容は興味深いものでしたが、残念ながら一般の人の集まりは少なく、ちょっと残念な思いでした。しかし当院の患者さんのお母さんの姿もあり、残念ななかホット安心した講演会でした。

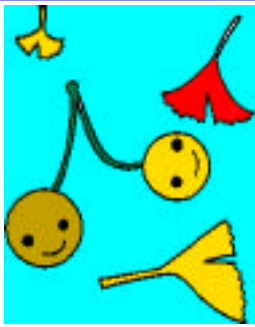
来年も「こどもの健康週間」があります。その時は参加していただけるように、今からお願いしておきます。話を聞きに来てくれたお母さん、ありがとうございました。

スタッフ紹介

新しい看護スタッフが増えました。まだまだ慣れていませんが、従来のスタッフ同様よろしくお願い致します。少しはサービスが、向上するでしょう。

『はじめまして、9月下旬より勤務しています高木です。産まれも育ちも福島県郡山市で仙台に来て3カ月、やっと慣れてきたかなという感じです。小児科は始めてで、先生やスタッフの方々から多くのことを学び、お母さん方にいろいろなことを伝えていけるよう、日々勉強中です。明るいあたたかい雰囲気の病院で、信頼される明るい看護婦になれるよう、精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。高木 幸枝』

『9月末からの新顔です。今年免許取り立てで、「ひよこ」にも遠い、まだまだ「たまご」な私ですが、ここ「かわむらこどもクリニック」で成長していければと思っています。ぎこちな対応等、不慣れな点が多く目に付くと思いますが、一日でも早くなじんでいけるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。明石 裕美』



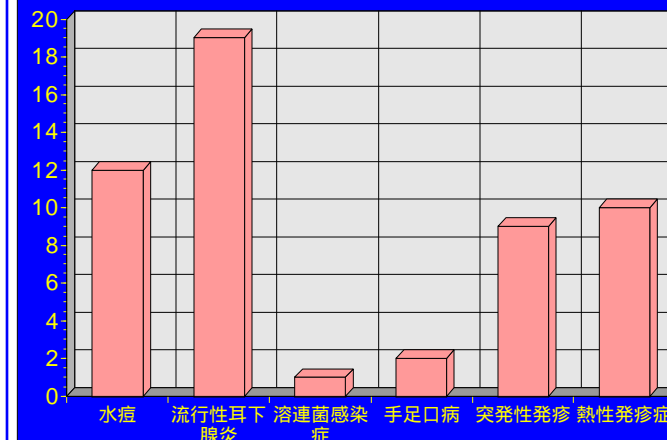
読者の広場

今回も投書を頂いたので、紹介します。2児のお母さんからいただきました。ひとつは喘息の絵本をおいていただきたいということなので、問い合わせて置くようにします。『いつも病気を治していただきありがとうございます。(絵本の紹介等です)もう一つ、病院に低身長のパフレットや本がありますが、私の子供もとても心配です。先生に相談するときは、前もって時間の予約やこれまでの身長の伸びのグラフなど必要なものはありますか。本人もとても気にしているし、公園で「ちび!」といわれて、傷ついています。どうか教えて下さい。よろしくお願い致します。』時間の予約等は必要ありませんが、身長をグラフにする成長曲線の用紙があります。事務にもらってグラフに書き入れて一緒に持ってきて下さい。

もう一つ青葉区のTさんからうれしい投書を頂きました。『川村先生いつもお世話様です。以前クリニックの新聞を読んでいない人がいると書かれてとてもおどろきました。私の友人は東京から遊びに来て読ませてあげたら、とってもよこび1号から全てコピーして帰りました。帰ってからも又別のの人にコピーさせているそうです。市販の育児書よりずっとためになるそうで...。そういう人もたくさんいますヨ!』前にも書きましたが、NEWSはボランティアみたいなものです。購読料をとるわけでもなく、読まれているかもわからず、あげくに経費(こんなこと言うものではありません)もかかるものです。そのジレンマと戦いながら、50号にもなってしまう自分でも驚いています。誰かの役に立っているという理由と開業のポリシーを貫くためにも、続けています。こんな投書や声が届くようになります。本にして出版したらという声も聞こえてきます。そんな言葉で勇気が湧いてきて、また続けていく気力がでてくるのです。ありがとうございます。誰か1面の記事を書いてくれませんか?趣味の写真やイラストカットなど、何でも結構です。よろしく!!!! また投書は返事が必要な場合もあるのでなるべく実名でお願い致します。もちろんNEWS上では名前は出しません。



10月の感染症の集計



流行性耳下腺炎(おたふく)は相変わらずの数で、あまり減少傾向がみられません。水痘は一部の流行以外は、広がっていないようです。毎年のことですが、喘息が増えてきています。また気管支炎や軽い肺炎も比較的多くみられています。マイコプラズマ肺炎は無いようです。まだ夏風邪のなごりの手足口病がみられ、とびひもたまにみられます。これからますます風邪が流行ります。気を付けて下さい。

インフルエンザの予防接種について

今年の冬のインフルエンザまだ記憶に残っていると思います。老人施設でお年寄りが具合が悪くなったこともありましたが、任意接種ですが、今年も接種を行います。1~4週開けての2回の接種となります。詳しくは、受付まで!

土曜午後臨時休診のお知らせ

保団連全国研究集会が、11月22~24日まで神戸で開催されます。発表のため

11月22日(土曜日)

午後休診 となります。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解の上ご協力をお願いします。

「すこやかさん こんにちは」放送予定

皆さん御存知のように、院長は、教育委員会の家庭教育充実事業の「すこやかさん こんにちは」テレビ育児相談の部長をしています。そのスケジュールをお知らせいたします。放送は、

東北放送で午前10:00~10:30です。

上段はメインテーマ、下段はすこやか健康メモです。

11/1(土) 予防接種を受けましょう

X脚 O脚

11/15(土) お手伝って たのしいな

そけいヘルニア

11/29(土) 個性とは?しつけとは?

アトピー性皮膚炎

12/13(土) おじいちゃん おばあちゃんと

ひきつけ

1/10(土) 「やめて!」と言える子に

子どもの便秘

2月21日まで全部で10回あります。院長の担当は、個性とは?しつけとは?(次は1/24)です。興味のある方は、ご覧になってください。内容についてのパンフレットがあります。希望の方は受付まで。

11月のお知らせ

11月25日(火)は、1歳6カ月健診(宮城野区)のため午後の診療時間が変わります。

14:00~16:30は休診となります。予防接種、健診はありません。

編集後記

寒い日が続くようになってきました。喘息も目立ち、やっと小児科らしい季節になりました。小生も早くも風邪をひいてしまいました。新しいスタッフも風邪の歓迎を受けてしまいました。忙しくなる前に、早く慣れてもらいたいと思っています。

K's clinic